

# 第49回 KITライフサイエンスセミナー



## バッタの繁殖行動

～集団別居による円滑な雌雄の出会い～

15 : 00 ~ 前野ウルド浩太郎  
国際農林水産業研究センター・主任研究員



サバクトビバッタはアフリカ等でしばしば大発生し、農作物に深刻な被害を及ぼす。世界的な害虫にもかかわらず、野外における繁殖行動については長年にわたり謎であった。演者らは、サハラ砂漠で9年間にわたり野外調査を実施し、雌雄が集団別居し、お互いに好ましいパートナーに巡り合い、交尾や産卵している現象を見出した。本セミナーでは、フィールドワークの様態を交え、これらの繁殖行動に関わる知見を紹介したい。

## カイコのゲノム編集による 絹タンパク質の改変ーゲノム解析技術の進展ー

16 : 00 ~ 高須陽子  
農業・食品産業技術総合研究機構  
生物機能利用研究部門上級研究員

カイコの作る繭は、繊維状のフィブロインと糊状のセリシンからなります。いずれも繰り返し配列を多く含む高分子量の構造タンパク質です。酵素やシグナル分子のような明確な機能を持たない構造タンパク質は、その一次構造を始め、分子が集まって形成される階層構造、それによって生み出される物理的性質などの特性解明があまり進んでいません。近年のゲノム解析技術の進歩によって、さまざまな生物が作る多様な構造タンパク質の配列情報が得られるようになり、また、ゲノム編集技術の発達により、生物が持つ遺伝子の自由な書き換えが可能になりつつあります。私たちは、カイコのゲノム編集を利用して、絹タンパク質への理解を深めるとともに新しい繊維素材を作出することを目指しています。



事前登録不要  
講演会参加費無料

日時 7月5日(金) 15:00 - 17:20  
17:30～懇親会(有料)の申し込みはQRコードから➡

会場 京都工芸繊維大学 60周年記念館1階

対象 学生・教職員・一般の方

